

事業終了報告書提出について

事業終了後は、速やかに後援事業終了報告書を審査担当課へ提出ください。

(自治体にもよりますが、事業終了後1週間~1ヶ月以内)

※イベントの中止・変更があった場合も報告提出が必要です。

① 後援事業終了報告書 (様式確認)

② 添付書類

- ・収支決算書
- ・事業内容がわかるもの (プログラムや配布チラシ、大会結果など)

【ママと子どもの子育てラボ報告書例】

収 支 決 算 書		
事業名 プログラミング&マナー講座↓		
(1) 収入の部 [単位:円]		
項 目	金 額	説 明
イベント代	¥ 50,000	本会計より充当
計	¥ 50,000	
(2) 支出の部 [単位:円]		
項 目	金 額	説 明
会場設備 (7/11)	¥ 8,640	
会場設備 (8/14)	¥ 8,640	
チラシ印刷代等	¥ 17,100	
雑費	¥ 15,620	
計	¥ 50,000	

大阪市教育委員会後援名義使用承認事業報告書

令和 年 月 日

大阪市教育委員会教育長 様

申請団体所在地 〒 _____

電話 _____ /FAX _____

申請団体名 _____

代表者職・氏名 _____ 印

事務局連絡先 電話 _____ /FAX _____

担当者 _____

令和3年4月26日付 大市教委第598号で承認いただいた事業が次のとおり終了しましたので報告します。

記

- 1 行事名 キッズプログラミング体験&マナー講座
- 2 実施期間 令和3年8月28日(土)・令和3年9月25日(土) ↓
- 3 実施場所 ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター) ↓
大阪府大阪市中央区大手前1丁目3番49号 ↓
- 4 主催者名 一般社団法人 ママと子どもの子育てラボ ↓
- 5 後援団体(大阪市教育委員会を除く) 無 ↓
- 6 事業内容(出演者・講師、内容、参加対象、参加者数、収支計算書等)

事業内容：ファイナンシャルプランナーの講師を招き、プログラミング体験講座を行いました。↓
セミナー前半は身近にあるコンピュータを例にプログラミングの基礎や、コンピュータへ指示の伝え方を学んでもらうことで論理的な思考を学んでもらいました。↓
「考える力」だけでなく「想像する力」も身につけるきっかけになったと思います。↓
後半では自分だけのオリジナルロボットを作成、実際にロボットを動かして、プログラミングの最も基礎となる、「動いた!」「楽しい!」という感覚を体感してもらいました。

また、保護者向けのミニセミナーも実施。子育て世代の方のお役に立つ籍や、プログラミングを通して学校教育が今後どのように変わっていくかなどをお伝えし、親子ともに楽しく学べるイベントとなりました。↓

参加対象：大阪市中央区在住の4~10歳のお子様+親御さん↓

参加人数：7/11 午前 子供14人(兄弟含む)+保護者11組 ←
午後 子供13人(兄弟含む)+保護者10組 計52名 ←
8/14 午前 子供9人(兄弟含む)+保護者7組 ↓
午後 子供14人(兄弟含む)+保護者12組 計45名 ←

※事業内容など別紙資料の添付をお願いいたします。←